

結 進
躍 仕
奉 仕



— 発 行 者 —
一般社団法人 鹿児島県建築協会
〒892-0853 鹿児島市城山町2-13
電話 099-224-5220 FAX 099-227-5479
https://kagoken.net
E-mail: info@kagoken.net

年頭所感

一般社団法人鹿児島県建築協会 会長 梶井 銀二郎



令和8年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素から建築協会の事業活動に格別のご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年8月、2回発生した線状降水帯によりレベル5の緊急安全確保が発令された霧島市や始良市などが災害救助法の適用を受けたことから、当協会は県との災害協定である被災住宅の応急修理支援を開始し、また被災した市の要請に応じて住宅の応急修理に係る相談員を現地派遣するなど災害対応に追われた年でありました。

また、当協会の会員が主導した事業委員会により10月4日にセントラススクエア・ホールで開催された「かこしま住まいと建築展」は、小型木造住宅の組み立てなど親子で楽しめる無料体験が数多く催されました。鹿児島のインフルエンサーによるPR効果も加わって、家族連れを中心にこれまで以上の賑わいとなり「建築の楽しさ・面白さ」を伝え、未来の担い手につながる民間ベースの建築イベントになりました。企画立案から参加団体との調整を行うなど初めての試みの中、主導した会員に感謝申し上げます。

さて現在、我々を取り巻く環境は、資機材価格、人件費の上昇に起因する実質事業量の減少と

いつた企業の経営を直撃する危機が表面化する中、昨年12月に全面施行された改正建築業法により、技能者の適正施工の確保に不可欠な経費が明確化され、労務費の基準値も規定されるなど技能者の処遇改善に取組む必要もあることから、その原資となる適正な利益を確保することが益々重要となっています。

このような中、当協会は県発注の建築工事において、実勢価格反映のため、単価の改定頻度を増やすことや、これまで労務単価の変動時に適用していたインフレスライドを物価水準の上昇にあっても適用すること及び時間外労働規制が適用された中で統計史上最高となった異常な酷暑への対応として、発注時点においての工期に算入する想定猛暑日の明示と想定を超えた場合の工期変更対応について発注当局のご理解のもと改善に至ったところです。

しかし、地方自治体が発注する公共建築の現状として、平成28年から未だ改定されない一般管理費や一部の自治体では未だに猛暑日を考慮しない工期設定もあります。この他にも通常、地元で受注していた規模の工事が地元に限定しないPFI方式による発注なども見られます。

また、建築投資の大半を占める民間建築工事については、社会情勢の変化に

化にに応じた価格転嫁が困難なものや適正な工期の確保に問題がある工事が散見され、建設関連施策は土木を中心とした判断や考え方が主流のため建築に則した課題解決に結びついていません。

今後、建築協会はこれらの課題に対し、引き続き、国の動向も注視し関係当局及び関係機関への要望・協議により業界の発展を目指すとともに建築の担い手確保の取組みを通じて、良好な建築を行い、建築の将来を担う世代にも発信して建築業の魅力向上を図り会員にとつて必要な団体となるよう更に努力してまいりますので、皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとつて新しい展望が開ける年となるよう祈念して年頭の挨拶といたします。

令和8年の新春を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。

「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を目指して

鹿児島県知事 塩田 康一



令和8年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

一般社団法人鹿児島県建築協会におかれましては、建築工事の安全かつ適正な施工の推進をはじめ、公園清掃などのボランティア活動による地域貢献、建築業を志す学生を対象とした現場体験学習の実施など将来の人材育成等にも積極的に取り組まれ、本県建築業界の健全な発展に御尽力いただいております。

また、県との災害協定である被災住宅の応急修理支援や木造仮設住宅の建設、被災建築物応急危険度判定活動につきましても、台風災害などで被災した住宅の安心安全な居住支援のため、迅速に御対応いただいております。心から感謝申し上げます。今後とも、御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

現在、本格的な人口減少や少子高齢化の進行、輸入物価や人件費の上昇等を背景とした物価の高騰など、社会経済情勢は大きく変化してきており、建築業界におかれて

も、労働基準法による時間外労働の上限規制への対応やデジタル技術の普及・活用、特に、若手人材の確保・育成などが重要な課題となっていると考えております。

県におきましては、建築工事における物価高騰を反映した適切な労務単価を設定するとともに、働き方改革や生産性の向上を一層推進するための適切な工期の確保、週休二日工事や建築BIM、情報共有システムの活用などの取組を積極的に推進しております。

建築関連産業は裾野が広く、従来から本県の経済や地域雇用を支える上で大きな役割を担っており、前期5年の締め括りと、後期基本計画の策定を進める年となります。

このため、建築分野におきましては、個性と魅力のある都市空間の創出に向けて、加治屋町一番街区における市街地再開発事業の推進や、中心市街地における老朽化した建物の建替え等を促進するための容積率の割増し制度の創設など、機能性の高い都市空間の形成に取り組みまいります。

加えて、空き家の適正管理や有効活用を促進するとともに、多様なニーズに対応する市営住宅の再生を進めるなど、安心安全で暮らしやすい住環境の構築を図ってまいります。

今年、はまちづくり全体の指針となる総合計画

また、県の公共施設におきましても、県体育館・武道館の老朽化に伴うスポーツ・コンベンションセンターの整備や、各地域振興局・支庁庁舎の再整備などを予定しております。貴協会の皆様のご役割は、今後とも重要なものであると考えております。

皆様には、今後とも、更なる技術の研鑽や建築業の健全な発展により一層努められ、安全・快適で質の高い建築物の建築に御尽力いただき、引き続き、県勢発展に御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人鹿児島県建築協会の更なる御発展と、会員の皆様の御健勝・御活躍を心から祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

の前期5年の締め括りと、後期基本計画の策定を進める年となります。

このため、建築分野におきましては、個性と魅力のある都市空間の創出に向けて、加治屋町一番街区における市街地再開発事業の推進や、中心市街地における老朽化した建物の建替え等を促進するための容積率の割増し制度の創設など、機能性の高い都市空間の形成に取り組みまいります。

結びに、新しい年が未来への夢と希望の持てるすばらしい年となり、鹿児島県建築協会がますますご発展されますよう、心よりお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。



仙巖園駅開業 令和7(2025)年3月15日、鹿児島市吉野町の仙巖園前に九州旅客鉄道(JR九州)日豊本線の新駅「仙巖園駅(せんがんえんえき)」が開業しました。

新年のご挨拶

鹿児島労働局長 永野 和則



明けましておめでとうございませう。

新年を迎え、一般社団法人鹿児島県建築協会並びに会員の皆様には心よりお祝いを申し上げます。

本県の雇用情勢はいずれの産業においても新規求人数が減少傾向にございませうが、建築技術者、建設躯体工事従事者、建設従事者といった建設従事者の令和7年10月時点の有効求人倍率はいずれも4倍を超えており、深刻な人手不足が依然として続いている状況です。

鹿児島労働局では、鹿児島及び国分の両ハローワークに設置した建設業等の人材確保を支援する人材マッチングコーナーを中心に人手不足対策に取り組んでまいります。

また、中小建設事業主にに対し、建設キャリアアップシステム(CCUS)の技能者登録を行い処遇改善を図ることや、工事作業に関連する実習を建設労働者に受講させた経費を補助するための助成金制度により、キャリア形成促進に取り組んでまいります。

建設業における労働災害は、ここ数年高止まりの状況にあり、「墜落・転落災害」が最も多く約4割を占めております。本年も建設工事従事者が安全かつ健康で安心して働くことができませう、関係行政機関、労働災害

防止団体及び関係団体との連携をこれまで以上に緊密にするとともに、第14次労働災害防止計画に基づき、墜落・転落災害を始めとする労働災害防止、労働者の健康確保等に積極的に取り組んでまいります。

また、令和6年4月1日から建設業にも時間外労働の上限規制が適用となりまして、建設業の未来の担い手の確保のためにも、発注者、受注者双方における適正な工期設定を通じた長時間労働の是正と、適切な金額による契約を通じた労働者の処遇改善が重要でございませう。事業者等が上限規制を遵守できるよ

新年のご挨拶

九州地方整備局鹿児島営繕事務所長 南波 宏志



令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

一般社団法人鹿児島県建築協会並びに会員の皆様におかれましては、平素より官庁営繕事業の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、持続可能な建設業の実現に向け、改正建設業法および公共工事入札契約適正化法が昨年末に全面施行されました。地域の守り手」としての役割を将来

にわたり果たしていくため、時間外労働規制への対応をはじめ、処遇改善、働き方改革、生産性向上に取り組んでいくことが求められております。

特に「労務費に関する基準」については、その趣旨をご理解いただき、適切に取り組んでいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

官庁営繕事業における働き方改革の取り組みとしては、「営繕工事の生産性向上に向けた関係者間調整の円滑化のため、営繕事業の各段階において発注者として実施する事項」を取りまとめ、推進してまいりました。昨年度は、更なる生産性向上を目指し、建設業団体よ

提供を受けた参考事例を基に、特に設計に関する取り組みへの理解を深めるための事例解説を作成しました。

また、工期設定に関しては「公共建築工事における工期設定の基本的考え方」を改訂し、国、都道府県、政令市が連携して、公共建築工事において適正な工期を確保するための方策や留意事項を取りまとめました。

さらに、週休二日制については「完全週休二日」の確保に向けた取り組みを推進してまいります。

今後、「営繕事業の働き方改革の推進に向け、貴協会並びに会員の皆様には引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会の更なるご発展と、会員の皆様のご健康・活躍を心より祈念し、新年のご挨拶といたします。

新春を迎えて

鹿児島県土木部建築技監 上村 康孝



令和8年の新春を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

皆様には、平素より、本県の建築住宅行政の推進に御理解と御協力を賜り、また、ボランティア活動等の地域貢献活動や建築関連技術者等の人材育成に御尽力いただいておりますこと心から御礼申し上げます。

令和7年8月の豪雨災害におきましては、住宅の応急修理に関する協定に基づき復旧支援に御協力いただいたところであり、重ねて御礼申し上げます。

さて、建築業界におきましても、若手人材の確保・育成や

デジタル技術の普及・活用(令和6年4月から建設業にも適用された労働基準法による時間外労働の上限規制への対応などが喫緊の課題となっており、働き方改革や生産性の向上について、建築BIMの推進などより一層の取り組みが求められております。

このようなことから、県では現場環境の改善を目指し、魅力ある仕事や現場の創造に努めることを目的とした「環境改善実施要領(工事編)」を適用し、ワンディ・レスポンスの徹底、ウィークリ・レスポンスの徹底など、受発注者で協力した取り組みを行っております。

県では、本年1月より建築確認の電子申請を受付開始するとともに、建築相談や台帳記載事項証明手続きの電子メール対応を行っております。

貴協会の皆様におかれましては、引き続き本県の「安心・安全・快適」で質の高い建築物の創造や良好なまちづくりに御尽力を賜りますようお願いいたします。

年頭にあたり、貴協会の益々の御発展と皆様の御健康・御活躍を祈念し、新年の御挨拶といたします。

新年のご挨拶

南九州市長 塗木 弘幸



令和8年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

一般社団法人鹿児島県建築協会の皆様には、平素から本市の建築行政の推進にご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

昨年、本市においても台風や豪雨による河川の氾濫により、住宅の床上浸水をはじめとする災害が発生するなど、市民生活に直接影響を及ぼす災害が発

生したこと、今後あらゆる事態を想定した災害対策が重要であると改めて認識させられた年でした。

さて本市では、本年9月の開庁を目指し、新しい庁舎の建設を進めております。これまで3つに分散していた本庁機能を集約することで、これまで以上に市民サービスを充実させ、市民の皆さまが「住みたい、住み続けたい」と思うようなまちづくりを進めていくことが私の責務であると考えておりますので、住環境の創造を掌る建築業界の皆さまには格別なご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、令和10年の供用開始を目指し、本市知覧

に南薩地域振興局を移転新築することとし、昨年基本設計を公開いたしました。今後、現地での整備が進んでいくことが見込まれることから、地元自治体としましても積極的に協力を行って参る次第でござい

ます。さらに国全体で人口減少が進む中、地域の持続的発展のために、南薩地域を東西に貫く南薩横断道路の早期整備に向けて、近隣自治体の皆さまと共に国、県に要請を続けて参りたいと考えておりますので、貴協会におかれましては、高い技術力により、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人鹿児島県建築協会の更なる御発展と会員の皆様のご健康・活躍を心からお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

また、令和3年に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」として世界自然遺産に登録されてから5周年を迎えます。固有の生態系と豊かな自然環境を後世に継承するためには、環境保全と地域の暮らしの調和が欠かせません。建築行政においても、自然環境に配慮した土地利用、景観との調和、環境負荷の低減といった視点がより重

要性を増しております。さらに、近年は気候変動の影響による自然災害の増加や、既存建築物の老朽化、省エネ基準の強化など、建築分野を取り巻く課題は多岐にわたります。本市としても、防災力の向上を図る施策や持続可能な公共施設の維持に取り組む、地域の安全性と利便性の向上に努めていく必要があると考えております。

このような取組を進めるうえで、建築協会の皆様との連携は不可欠であります。とりわけ、若手技術者の育成や、自然と共生する建築文化の継承において、皆様のご協力を賜りながら、奄美らしい景観と暮らしを未来につないでいきたいと考えております。

結びに、本年も貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健康・ご活躍を心より祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

薩摩川内市長 田中 良二



新年あけましておめでとうございませう。

一般社団法人鹿児島県建築協会の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えるのにと、心よりお慶び申し上げます。

皆様には、平素より、本市のまちづくり、建築行政、インフラの維持・発展において、多大な御尽力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年、本市では、人口減少、笠利地区が平成18年に合併し、本年市制施行20周年を迎えます。これからもこの3地区それぞれの地域の強みを生かした特色ある発展に向け、「しあわせの島」を本市の目指す将来像として、まちづくりを進めてまいります。

また、令和3年に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」として世界自然遺産に登録されてから5周年を迎えます。固有の生態系と豊かな自然環境を後世に継承するためには、環境保全と地域の暮らしの調和が欠かせません。建築行政においても、自然環境に配慮した土地利用、景観との調和、環境負荷の低減といった視点がより重

少、災害対策、地域産業の活性化といった重要課題に取り組む中で、市民生活を支える社会基盤の整備、地域の安全性向上、そして未来を見据えたまちづくりにおいて、皆様に多大な御尽力をいただきました。

特に、公共施設の長寿命化や、地域防災力を高めるインフラ整備、新たな地域価値を高めるプロジェクトなどにおいては、皆様の高い技術力と専門知識が不可欠であることを改めて実感しました。

一方で、脱炭素社会に向けた建築物の省エネ化、災害に強いまちづくり、デジタル技術の活用による建設現場の効率化、働き方

改革など、建築業界を取り巻く状況は大きく変化しております。本市としても、皆様と連携し、地域の未来を見据えた質の高い公共インフラ整備や都市政策を推進してまいります。

また、本市の魅力向上と地域経済の活性化には、建築・土木技術者が地域で活躍いただける環境づくりが欠かせません。若手人材の育成、働きやすい環境づくり、そして建設産業の活力維持に向け、行政として取り組みを二層強化してまいります。

建設業の未来

副支部長 川井田 哲 (柳川井田組)



建設業界に入って今年でもう50年になります。いまだにまだ修行中の段階かと感じています。現場ではこうしておけば良かったとかこんな工夫もあったのになあと反省する事の繰り返しです。さて、これからの建設業界ですが、「建設需要が減って、将来が不安だ」という意見はあるものの、住宅やビルといった建築物やインフラは、一度建てたら終わりというわけではありません。建築物は、長年使い続けられれば必ず老朽化し、定期的なメンテナンスや再建の必要があり、建設の仕事は途切れることはないでしょう。

現在建設業界が抱える課題は、人手不足、長時間労働、デジタル化の遅れ等です。その為に時

緑寿を迎えて

南薩支部 理事 大坪 祥浩 (柳大成寺工務店)



令和8年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお過ごしのことと存じます。

思えば令和2年、会報「鹿見島けんちく」の年男年女コーナーにて、還暦を迎えた折に寄稿させていただきました。それから6年の歳月が流れ、今年は緑寿を迎えることとなりました。

昨年11月23日には、65歳の同窓会を開催いたしました。本来は還暦祝いとして計画していたものの、コロナ禍により延期を余儀なくされ、ようやくこの節目に実現したものです。小学校・中学校合同での開催となり、174名中43名が出席しながら、残念ながらすでに15名の方々が亡くなられており、寂しさを覚える場面もありました。再会した仲間たちは、髪が白く

5 社会合同展示場

副支部長 田頭 謙一 (柳田建設)



新年あけましておめでとうござい

ます。昨年は、若輩者ではあります。理事として活動させていただき、諸先輩方の皆様には、ご指導いただきまして感謝申し上げます。微力ながら協会、業界の発展に尽力したいと思っております。建築業界を取り巻く環境は、資材高騰などの波を受け、価格が折り合わない状況が多くあります。身近な建築である住宅にも影響があります。そんな状況下、2025年1月10日に出水市において、地元工務店5社による移動型合同展示場をオープンいたしました。これは県内初の試みで、11月末までの期間限定で展示しました。お陰様で540組以上のお客様にご来場いただきました。総合展示場での集客減少が注視されている昨

今、地元の会社だけの集客としては、大きな効果を得ることができました。これも5社合同で実施したからこそだと思っています。1社の力では、困難なことを地域の中でライバル同士の会社が集結したからできたことです。この取り組みに参画したきつ

初体験

始良・伊佐支部 副支部長 末重 堅司 (末重建設)



2025年は自分にとって激動の年となった。と書くとうむ、お主の身に何か凄じことが起こったのか!? 一体何が起ったのだ!!

などと思われる方もおられるのではないかと思います。何と2025年に手術を2回も経験したのであります。初めは6月。白内障の手術。リクラインングチエアーのような手術用の大きな椅子に座られ、目をキッと見開いたまま目の玉を洗浄消毒。痛つ。それから、なんかプリズムを見ているような時間が15分位経過して終了。眼帯を1週間装着した生活は運転も出来ず

し、互いに励まし合えることは何よりの喜びです。これからもこの緑を大切に、緑寿の年を新たな希望とともに歩んでまいりたいと思います。

建設業の必要性

曾於支部 会員 南 智和 (柳南建設)



新年、明けましておめでとうござい

ます。昨年も協会の諸先輩方からの薫陶を受け弊社と致しまして、益々精進する決意であります。さて、昨年建設業界におきましては働き方改革や資材価格高騰、労務不足など様々な課題に直面する場面も増えてきました。また、災害も頻繁に発生し日本全土が災害復旧対応に追われる時代になっていきました。弊社は熊本地震及び球磨地方豪雨災害復旧のため被災地に乗り込み復旧に従事した経験があります。被災生活を過ごしていた方からお願ひされ、ほんの小さな作業ですが重機で汚泥やがれきを撤去し大きな感謝を頂きました。また昨年、霧島・隼人地区の集中豪雨の復旧作業に弊社も応援要請を受け隼人町にて従事しました。

国道504号線は冠水し、汚泥が溜まり車両は通行困難な状況でしたが、地元の建設業者の皆様は酷暑の中懸命に復旧作業に取り組んでおられました。復旧に取組まれた方に労いの意を表したいと思ひます。建設業は普段目立たない産業かもしれませんが、災害等の緊急事態が発生したとき重宝される産業であり、そして何より「地域の発展」「住民の人命と財産を守る」ことが建設業の使命ではないかと思ひます。近年、若い世代の建設業離れが顕著に現れていますが、この使命と建設業の魅力が新世代に伝わる

支部便り

鹿屋支部 支部長 梅木 一宏 (斉藤建設)



昨年11月に大分市の佐賀関で大規模な火災が発生しました。新聞の報道によれば、民家など170棟が被災したという事でしたが、その内の3分の1が空き家だったそうです。

日々の管理がなされないまま、放置された空き家の荒れ放題の草木も延焼の一因になったのではないのでしょうか？

ただし、人的被害が最小限にとどまったのは、古くから住民の結びつきが非常に強く、家族構成や障害者の把握が確実になされていたので、避難時の声掛けや迅速な誘導に繋がったと言われています。

新年のご挨拶

種子島支部 支部長 日高 政浩 (柳日高工務店)



令和8年の新春を迎え、謹んで

お慶びを申し上げます。また皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えの事と存じます。

昨年もおつという間の1年で、年々短いように感じております。年間を通して梅井会長をはじめ、各支部長、役員の方々は色々とお指導頂き、誠にありがとうございました。そして種子島支部の会員の皆様には協会活動に御理解、御協力をいただき書面をもつて厚くお礼を申し上げます。

変化を力に、未来を拓く年

奄美支部 支部長 松元 利道 (柳松元組)



新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

建築業界におきましては、働き方改革の推進、カーボンニュートラルへの対応、そしてデジタル技術の導入など、社会の変化に即した取り組みが求められる時代となりました。加えて、資材価格の高騰や慢性的な人手不足といった課題は、私たちの地元・奄美においても深刻な影響を及ぼしております。

こうした状況の中、地域の建築業界を支える担い手として、若手人材の育成や職場環境の改善、地元資源の活用による持続可能な建築の推進に力を注いでまいります。

晴れのご受章

心からお祝い申し上げます

黄綬褒章

塚田 洋一 (株)川原建設



この度令和7年度黄綬褒章の受章の栄に浴しました。

去る5月20日に伝達を受け、引き続き夫婦共皇居へ参内し春秋の間にて、天皇陛下下に拝謁の榮譽と共に言葉まで賜り感激の極みでございました。

この受章は、多くの皆様を支えられてのことであり心より感謝致しております。

今後も建設業発展のため微力ながら尽くす所存です。導き鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



国土交通大臣表彰

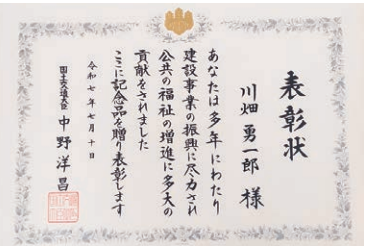
川畑 勇二郎 (株)川畑建設



新年あけましておめでとうございます。

昨年7月に国土交通大臣表彰を頂くことができました。この受賞は、多くの皆様方のご支援とご協力の賜物と感謝申し上げます。

これからも鹿見島の建設業界発展のため微力ではございますが努力を重ねて参りたいと思います。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



年男のコーナー

2026 午年

防災と砂



興南建設(株) 濱田 信行

〈昭和29年生まれ〉

被害を軽減するため、指宿港海岸の整備が進んでいます。これまで台風時には越波で住宅被害が頻発し、市民の陳情活動へと発展しました。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、佳き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

指宿港では、高潮・高波による住宅や観光施設への越波・浸水

還暦を迎えて



(株)丸栄建設 今村 壮一

〈昭和41年生まれ〉

新年あけましておめでとうございます。還暦を迎えるにあたり、長年携わってきた建築の仕事にあためて振り返る機会となりました。

現場で汗を流した若い頃から数々の工事に関わる中で、多くの先輩方に支えられ、また仲間とともに課題を乗り越えてきたことは、私の大きな財産です。建築は人々の暮らしを支える責任ある仕事であり、その一端を担えたことに誇りを感じています。今日、業界を取り巻く環境は

年男を迎えて



(株)宇都組 宇都 孝洋

〈昭和53年生まれ〉

新年あけましておめでとうございます。本年は4回目の『年男』を迎えます。

本年は還暦の由来にもなっている十干十二支で見てみると『丙午(ひのえうま)』にあたります。『丙』は十干の3番目で、『火』

する大規模なものです。ここは砂蒸し施設などが集まる観光の中心地です。

ワークショップで市民の意見が反映され、現在一部が完成、解放されました。美しい砂浜が戻り、ビーチバレーなどが行われる憩いの場となっています。越波被害もなく、安心した生活が戻りました。

今後は、遊歩道や海水浴場の計画もあり、令和9年度の完成に向け市民や観光関係者から早期完成が期待されます。

大きく変化していますが、現場で培った丁寧さや誠実さは、どれだけ時代が変わっても揺らぐことのない大切な価値だと実感しています。これからは、これまでの経験を少しでも後進に伝え、業界の発展に微力ながら貢献していければと考えております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

により、予算オーバー、入札不落、工期遅延などが多発し、建築業界を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっています。私自身においても上記問題は非常に頭を悩ませている事案であります。しかし、本年は『丙午』であるということ、そして私の持前である『挑戦』を活かしながら、建築業界という『暴れ馬』を見事に乗りこなし『落馬』しないよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって益々いい年になりますようご祈念申し上げます。

昭和29年生まれの会員



今村 次典 (株)堀之内建設



川井田 哲 (株)川井田組



濱田 信行 (興南建設(株))



福永 和則 (福永建設)

昭和41年生まれの会員



今村 壮一 (株)丸栄建設



上野 総一郎 (南国殖産(株))



黒松 正大 (株)黒松製材建設



堀之内 広高 (株)堀之内工務店

昭和53年生まれの会員



宇都 孝洋 (株)宇都組



佐々木 祐輔 (株)佐々木組



東 雅彦 (東建設(株))

午の豆知識

2026年(令和8年)は午年(うまとし)です。12支の第7番目、動物では馬(うま)に当て、そんな午と馬に関する豆知識を紹介します。

「午」という字は、上下に動かし、餅をつく杵(きね)の形が元で交互に打つ動作から「交差」や「切り替え」を意味します。昔は時刻を現在千支に使われていた漢字「子・丑・寅」で表していました。「午」は7番目ですが、一日を半分に分けてる時間帯にあるので、その前が「午前」、その後が「午後」と言われる所以です。

時間の呼び名が千支になったのは、昔あまの学問のない農民でも簡単に覚えられるように、それぞれの時間の呼び名に動物の名前を当てたのが始まりとされています。

「うま」という呼び方については、もとは中国から「馬」と伝わっていたが大きいという意味をつけて「おおま」と呼ばれていたものがなまって「うま」となつたとされる。

午年の歴史を見ると、に見逃せないのが「丙午(ひのえうま)年の生まれの女性は気性が激しく、夫を食い殺す」という迷信です。これは、江戸時代の初期の「丙午の年」には火災が多いという迷信が、八百屋お七が丙午の生まれだとされたことから、女性の結婚に関する迷信に変化して広まっていたとされます。丙午は60年に一度巡ってきますが、そのため多くの夫婦が出産を避け、丙午の年は出生が激減し、1966年は前年より約25%、46万人も減少しました。

かごしま住まいと建築展



「かごしま住まいと建築展」が10月4日、鹿児島県ゆとりある住まいと街づくり推進協議会が主催し、今年度は鹿児島県建築協会の事業責任者となり、建物整備に携わる各団体の協力のもと、センターラス天文館1階広場(センターラススクエア)と6階ホール・ガーデンにて開催されました。(来場者数は約2000人)

オープニングアクトは鹿児島県チアリーディングジュニアクラブの「ビッグサンダー」が世界6位のダンスを披露し、会場を盛り上げました。1階広場では登ることが出来る「次世代足場安全体験」、装着し宙づりになる「ハーネス体験」、自身の手で木材を組み上げる「家作り体験」、製図や簡易な模型作り「設計体験」、建築に関係のある様々な体験が出来ました。その他にも水道配管資材を使った「水鉄砲作り」、電気工事のプロが作った「電気イライラ棒の迷路」など各団体の特色を盛り込んだ内容でした。6階ホールでは学生による「模型展示」、「パネル作品展示」を使って県内の優れた建築物を紹介したほか、おもしろプラスエイチの「百田有希氏による特別講演会」では、建物が地域で果たす意義や可能性、建築の魅力と未来について語っていただきました。



次世代足場安全体験



家作り体験



ハーネス体験



特別講演会



電気イライラ棒の迷路



水鉄砲作り

令和7年11月7日 他3回



建築積算等に関する研修会(工事委員会)

令和7年6月18日 他10回



建築関係技術者研修会(工事委員会)

令和8年1月5日



新春建築四団体合同賀詞交歓会

令和7年8月28日



CCUS運用実践セミナー(研究開発委員会)

令和7年1月10日



安全祈願祭・第48回安全大会(労務委員会)

令和7年5月21日 他



「建築の日」ボランティア(研究開発委員会)(写真:北薩支部)

種子島支部/5月21・22日

曾於支部/9月20日

始良・伊佐支部/10月20日

南薩支部/11月25日

奄美支部/12月4日

鹿児島支部/12月5日

北薩支部
(日置・いちき串木野地区/12月5日、
川薩地区、甑島地区/12月6日)

鹿屋支部/12月8日



令和7年9月2日



鹿児島県との協議会(総務・工事委員会)

令和7年2月27日



労務委員による安全パトロール(北薩支部管内)(労務委員会)

令和7年10月7日



自民党建設問題調査会との協議会(総務委員会)

令和7年5月30日



令和7年度通常総会

令和7年度
建設業労働災害防止協
会鹿児島県支部 支部長
表彰
優良賞(事業場賞)
株式会社 榊建設
株式会社 松元組

その後、場所を講堂に移し、建築協会会長の挨拶で始まった安全大会では各種表彰の授与や来賓の方々より祝辞を賜った後、大会宣言をもつて締めくくられ今年1年の無事故・無災害を誓い合いました。
各種表彰者の受賞は次の通りです。
(会社名五十音順 敬称略)

中央建設三和建設特定
建設工事共同企業体
工事名:吉野小学校校
舎増築その他本工
事(発注者:鹿児島市)
株式会社 鹿大丸
工事名:桜丘西小学校

安全衛生管理優良賞
5現場
大渡 一樹
株式会社 植村組
千代留 吉郎
株式会社 内山組
永友 福雄
株式会社 内山組

功労賞
木之下 秀司
有限会社 木之下工務店
石井 芳樹
牧建設株式会社
山田 裕一
株式会社 山田建設

令和7年度
一般社団法人鹿児島県
建築協会 会長表彰
安全功労賞
株式会社 吉満組
工事名:川内商工高校
大規模改修工事(管25
番棟・建築2工区 債
務(発注者:鹿児島
県))

安全祈願祭
第四十九回安全大会

津曲工業株式会社
工事名:桜丘西小学校
校舎1号棟エレベータ
ー設置その他本工
事(発注者:鹿児島市)

霧島市・始良市大雨災害

8月7日から8日に発生した線状降水帯により、甚大な豪雨災害が発生しました。鹿児島県との協定に基づく要請を踏まえて、建築協会は同月19日、霧島市の国分建設会館で「応急修理に関する説明会」を開き、始良・伊佐支部や曾於支部、関係自治体の職員ら45名が参加し、支援制度の概要や対応マニュアルなど再確認しました。



1 土砂崩れの全景
2 着工前の様子
3 施工中の様子
4 応急修理に関する説明会(8月19日)

新入会員紹介
ようしくお願いします
瀬口 俊二
(株)セグチ
[北薩支部]
外園 太一郎
外園建設工業(株)
[北薩支部]

青年部会

新年のご挨拶

一般社団法人鹿児島県建築協会

青年部会 部会長

内村 明高



新年あけましておめでとうございます。

平素より、私たち鹿児島県建築協会青年部会

に格別なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。さて、私が部会長を拝命してからの貴重な2年間も、まもなく任期満了を迎えます。これまでを振り返りますと、会員各位、そして関係者の皆様

すが、この2年間で何よりも深く実感したのは、青年部会を構成する一人ひとりの確かな成長です。特に、3人の委員長には、建築業界を取り巻く複雑な課題に対し、真正面から向き合い、それぞれの強みと個性を活かした事業を見事に構築・運営してもらいました。事業を通じて企画力、実行力、そしてリーダーシップを身につけていく彼らや、運営に携わった多くの会員の姿は、未来の鹿児島建築界を担う強力な推進力

として、非常に頼もしく感じています。この喜びこそが、私にとって何物にも代えがたい報酬です。また、事業を通して、地域の皆様や子供たち、県内外の業界団体、学校関係など、多様なステークホルダーとつながりを深めることができました。これからも連携を密にし、会員同士が学び合い、交流できる場を設けていくことが、次世代の業界発展の礎になると確信しております。

節目の年でもあります。まずは3月までの年度を会員一同、最後まで全力で走りぬぎ、業界や地域への貢献を積み上げてまいります。同時に、これまで青年部会を支えていただいた諸先輩方や関係者の皆様への感謝を胸に、次の10年に向けて団結を強めてまいりたいです。

期待が一層高まっていると肌で感じています。私たちが先陣を切って動き続けることで、建築という仕事が生きていく高価値を生み出し続け、優秀な人材が集まる魅力ある産業になっていくと信じ、新しい取り組みを継続的に創造してまいります。

今後とも皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が、皆様にとって希望に満ちた、実り多き一年となりますよう。

青年部会会員募集

青年部会では会員(50歳以下)を募集しています。詳細については、建築協会事務局までお問い合わせ下さい。

新入会員です よろしくお祈りします!



株式会社津田建設
前田 佳孝さん
活動委員会



株式会社福永建設
福永 将士さん
会員研修委員会



株式会社山理建設
戸島 清一郎さん
総務・IT委員会

総務・IT委員長

川原 大地



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては新たな気持ちで新年を迎えたことと存じます。

早いもので委員長としての任期も残りわずかとなり、その成果を振り返る頃となりました。

客観的な目線で委員会にて取り組んできた

ことを見たとともに、「今では当たり前」を生み出していることに気がきました。まずはペーパーレス化です。現在の理事会は資料の紙ベースでの配布を全面的に廃止し、クラウド上での資料確認・協議で進められており、各自がノートPCを持参することがスタンダードになっています。これにより事務局の負担が大きく軽減され、資料の修正や追加も容易

になっています。

また青年部会2000誌では建築に関する豆知識を身近な存在で例えたり、コアなローカルネタを取り入れたり、会員だけではなく、企業社員や一般の方々からも好評をいただくことができました。当部会の目的とする建築業界の発展に少なからず寄与できたことを光榮に感じています。今後とも変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

会員研修委員長

山下 結城



新年あけましておめでとうございます。平素より会員研修委員会の活動にご理解、ご協力賜りまして誠に有難うございます。

本年度、経営者講習会では女性技術者が活躍できる職場環境について、講師をお招きし様々

な取り組みなど勉強させて頂きました。また、

実際雇用されている青年部会員の取組みも参考に前向きな意見交換も出来ました。本年度の三県合同懇談会は熊本本管で本県からも多くの方に参加して頂き、親睦会・懇談会共に大変盛り上がり、交流が図れました。役員会では各県活動報告と今後の三県合同懇談会のありかたなど協議されました。

また、本年度は建築関係の学校の先生にお越し頂き、県内の就職率UPを目指し、討論会と親睦会を行いました。参考になるご意見も頂きながら互いに白熱した討論会となり、有意義な時間となりました。また、建築協会青年部会のアピールもでき、学生に対し県内施工会社へ就職の後押しをして頂けるようお願いしました。会員拡大事業は会員の皆様から候補者をご紹介頂き、声かけやアピールを続けています。引き続きご紹介の程宜しくお願い致します。

活動委員長

野元 国広



新年あけましておめでとうございます。平素より当委員会の活動に関しましてご理解、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。

本年度の活動として、かごしま住まいと

う、心よりお祈り申し上げます。本年も何卒よろしくお祈り申し上げます。

定時総会(令和7年4月25日)



懇親会(令和7年4月25日)



お役立ちセミナー(令和7年12月22日)



三県合同研修会in熊本(令和7年11月7日)



先生との討論会・親睦会(令和7年11月27日)



2025かごしま住まいと建築展ブース出展(令和7年10月4日)



部会員で集合写真